

2023年1月1日から2023年12月31日の間に川崎医科大学総合医療センターに入院し、
嚥下造影検査を受けられた65歳以上の方およびご家族の方へ

「当院における嚥下造影検査対象者の栄養状態について」
へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加された方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審査を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学総合医療センター	栄養部	管理栄養士	森光 大
研究分担者	川崎医科大学総合医療センター	リハビリテーションセンター	言語聴覚士	横山 友徳
	川崎医科大学総合医療センター	リハビリテーション医学	医長	杉山 岳史
			臨床助教	佐藤 智史
	川崎医科大学総合医療センター	歯科・口腔外科	医長	福本 宗子

1. 研究の概要

超高齢社会が進む中で、死亡の主な原因に占める誤嚥性肺炎の増加が課題になっています。誤嚥性肺炎を起こすことで経口摂取が困難になり患者さん本人のQOLの低下につながるだけでなく、直接窒息死にもつながります。その原因は、脳血管疾患やパーキンソン病等の疾患による原因だけでなく高齢者の方がフレイルに陥ることにより全身のサルコペニアが発生することも懸念されています。そこで本研究では、嚥下造影検査を受けられた方の検査時の栄養状態を評価して、摂食嚥下リハビリテーションを行うときの栄養管理のあるべき姿を検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

・2023年1月1日から2023年12月31日の間に川崎医科大学総合医療センターに入院し嚥下造影検査の予約があった65歳以上の方を対象とします。

2) 研究期間

・倫理委員会承認日から2024年8月31日

3) 研究方法

・2023年1月1日から2023年12月31日の間に川崎医科大学総合医療センターに入院し、嚥下造影検査の予約があった65歳以上の患者で、年齢、性別、BMI、アルブミン、ヘモグロビン、CRPの検査値から検査実施グループと検査未実施グループの栄養状態を比較し検討します。

4) 使用する情報の種類

この研究で利用させていただく診療情報は、年齢、性別、身体測定データ、血液生化学検査データ等です。

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合医療センター栄養部内で保存させていただきます。電子情報はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。個人情報外部に漏れる心配はありません。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し付けください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合のみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子または兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりにくい点がありましたら、ご遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータはわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了解いただけない場合には研究対象としないので、2024年8月24日までに下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

担当者：川崎医科大学総合医療センター 栄養部 森光 大

電話：086-225-2111（内線84501）（平日 9：00～17：00）

3. 資金と利益相反

本研究において資金の受け入れ及び使用はありません。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し適正に管理されています。